

2021. 10. 13<計2枚>

草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

大学院生が最新の研究成果を発信
【BKC ライスボールセミナー】10月のご案内
「ケミカルバイオロジー」「AI、深層学習」「栄養学・健康科学」分野から

立命館大学は、「ケミカルバイオロジー」「AI、深層学習」「栄養学・健康科学」の各分野で、大学院生が自身の最新の研究成果を発表する「ライスボールセミナー」をオンライン（Zoom ウェビナー）で開催します。

「ライスボールセミナー」は、若手研究者や大学院生が自身の最新の研究成果を発表し、お昼の時間に軽食をとりながら、フリーディスカッションを行うセミナーです。2007年に教職員間の研究交流の場として開始し、現在では、専門分野を越えた研究者や学生間の交流促進、研究活動の創出など、次世代を担う若手研究者の育成の取り組みの一環として、各キャンパス（※）で開催しています。

びわこ・くさつキャンパス（BKC）では、10月から1月にかけて、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」として研究支援を受けている博士後期課程の「立命館大学 NEXT フェロシップ・プログラム生」が登壇し、最新の研究内容や研究の面白さをわかりやすく解説します。

どなたでもご参加いただけます。本テーマにご関心がある方のご参加をお待ちしております。

（※）衣笠キャンパス（衣笠、京都府京都市）、びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市）、大阪いばらきキャンパス（OIC、大阪府茨木市）

記

■ BKC ライスボールセミナー・2021年10月概要

（1）【ケミカルバイオロジー】「神経回路分別を担う新規グリセロリン脂質の生合成機構の解明」

日 時：2021年10月14日（木）12:20～12:45

登壇者：上嶋 里菜（生命科学研究所 博士課程後期課程1回生）

（2）【AI、深層学習（ディープラーニング）】「Deep Learning モデルを徹底した分析と最適化」

日 時：2021年10月19日（火）12:20～12:45

登壇者：Wang Zhichen（理工学研究科 博士課程後期課程1回生）

（3）【栄養学・健康科学】「3D 培養骨格筋を活用した筋機能向上のための運動・栄養処方の開発～マカと電気刺激に着目して～」

日 時：2021年10月26日（火）12:20～12:45

登壇者：Yi Dong（スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程1回生）

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

内 容：詳細は別紙をご覧ください。

参加費：無料

参加方法：申込不要。時間になりましたら下記に掲載の URL からご参加ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=510263>

なお、衣笠・OIC のライスボールセミナーは、下記のとおり開催します。

衣 笠： <http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=510325>

O I C： <http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=511727>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス ライスボールセミナー事務局 TEL.077-561-2802

■セミナー内容詳細

(1) 【ケミカルバイオロジー】「神経回路分別を担う新規グリセロリン脂質の生合成機構の解明」

生命現象を理解するための道具となる新しい分子を開発。本研究で対象とする「リゾホスファチジルグルコシド (LPG)」は、神経回路の走行経路を決定する重要な生体分子であるが、どのように生合成されるかが解明されていない。そこで、自ら創り出したオリジナルの分子を使い、LPG の生合成機構を明らかにすることに挑戦している。

登壇者：上嶋 里菜(生命科学研究科 博士課程後期課程 1 回生)

(2) 【AI、深層学習(ディープラーニング)】「Deep Learning モデルを徹底した分析と最適化」

Deep Learning モデルの実行過程を分析し、冗長計算を削減する最適化手法を発見。深層学習の認識率を維持しつつ、速度あるいは性能を向上させるために、本研究では、まず、CPU での演算について、複数の深層学習モデルを徹底的に分析。そして、深層学習モデルとその冗長計算を探し、冗長計算を削減する最適化手法を提案した。

登壇者：Wang Zhichen(理工学研究科 博士課程後期課程 1 回生)

(3) 【栄養学・健康科学】「3D 培養骨格筋を活用した筋機能向上のための運動・栄養処方の開発～マカと電気刺激に着目して～」

栄養処方として高原由来の機能性食品のマカを用いて、直接マウスの骨格筋細胞に添加することにより、筋肥大効果を惹起させることが判明。健康寿命の延伸のためには、骨格筋の機能向上が重要な課題である。サルコペニアなどの疾患予防のため、運動や適切な栄養摂取による予防が推奨されている。低強度の運動と栄養の組み合わせ処方の開発、そして生体に近い筋肉モデルのつくり方に注目している。

登壇者：Yi Dong(スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程 1 回生)

■立命館大学 NEXT フェロシップ・プログラム生について

立命館大学では、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の採択を受け、2021 年度より、優秀で意欲の高い博士後期課程の学生を「立命館大学 NEXT フェロシップ・プログラム生」として受け入れています。多様な分野の研究者と協働しながら研究力の向上を図り、博士後期課程修了後のポスト確保までを一貫して支援しています。

WEB サイト： <http://www.ritsumei.ac.jp/next-fs/>